

## 審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第 42 回 松阪市手話施策推進会議
2. 開 催 日 時	令和 5 年 7 月 19 日 (水) 18 時 30 分～19 時 35 分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 5 階正庁
4. 出席者氏名	(委 員) 深川誠子、栗田季佳、牧戸淳、高柳吉紀、亀田紀子、 中里恵子、中村勝博、榊原典子、小泉恵希、越川元博、 西浦有一 (事務局) 西嶋秀喜、小山賢司、村田智美、北村智絵
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍 聴 者 数	0 名
7. 担 当	松阪市福祉事務所障がい福祉課 TEL 0598-53-4059 FAX 0598-26-9113 e-mail : shogai.div@city.matsusaka.mie.jp

### ○協議事項

- ・令和 5 年度「まちかどミニお手話べり会」について
- ・「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」施行 10 周年記念事業について

## 第 42 回 松阪市手話施策推進会議 議事録

日 時：令和 5 年 7 月 19 日（水）18 時 30 分～19 時 35 分

場 所：松阪市役所 5 階正庁

出席委員：深川誠子、栗田季佳、牧戸淳、高柳吉紀、亀田紀子、中里恵子、中村勝博、  
榊原典子、小泉恵希、越川元博、西浦有一

事務局：西嶋秀喜、小山賢司、村田智美、北村智絵

傍聴者：0 名

### 1. あいさつ 議長あいさつ

### 2. 協議事項

#### ■令和 5 年度「まちかどミニお手話 Beri 会」について

事務局 まず資料 1 をご覧ください。11 月 18 日に開催を予定しています、まちかどミニお手話 Beri 会の進行表について、今年度のタイムスケジュール案になります。時間は昨年と同様で 10 時～14 時です。10 時から手話普及啓発ポスター入選作品の表彰式を行い、10 時半からはミニ手話教室、パネル展示、手話動画の 3 箇所を回るスタンプラリーとお手話 Beri 体験を行ってはどうかと考えています。パネル展示については、昨年と同様の内容、手話動画については、昨年流したコミュニケーション方法、日常会話に今年度撮影した分を追加したミニ手話コーナー、これらに加え手話サークルなどによる手話歌や手話ダンスを考えております。まず、開催時間とパネル展示、手話動画について、協議していただきたいと思っております。

議長 説明ありがとうございます。開催時間は去年と同じ 10 時から 14 時でよろしいでしょうか。皆さん賛成いただきましたので次に進みます。パネル展示と手話動画について、動画は手話サークルの手話歌など。パネル展示は去年と同様でポスター、サークル紹介などが入っております。こちらご説明いただいた内容でよろしいでしょうか。皆さん領いていただいておりますね。ありがとうございます。では時間は 10 時から 14 時で決定。次に表彰式など詳しくご説明いただきたいと思っております。

事務局 表彰式、スタンプラリー等についてご説明いたします。資料 2-1 をご覧ください。手話普及啓発ポスターの表彰式を行う際の会場の配置図案です。昨年から大きな変更はありませんが、昨年、屋上駐車場から入ってこられた一般のお客様が通行に戸惑われた場面があったとの意見がありましたので、スタッフが入

選者待機位置の後ろの通路を誘導するなど対策が必要かと思われます。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したため、入選者待機位置の間隔を昨年より狭めることで、通路の確保は可能と考えております。次に資料2-2をご覧ください。まず、スタンプラリーについて説明いたします。スタンプラリーのやり方や配置については、基本的には昨年とほぼ同じです。スタンプラリーを行う場所は、1箇所目はミニ手話教室、2箇所目は手話動画コーナー、3箇所目はパネル展示コーナーです。それぞれに設けた机、資料の中のピンク色の机でスタンプを押します。参加者は3箇所どこからでもスタンプラリーを始められるように、3箇所全てにスタンプラリーカードを用意しておきます。3箇所を回る順番は決まっておらず自由です。スタンプラリーの景品については、スタンプラリー3箇所のうち、2箇所以上回った方を対象にお渡ししたいと思います。また、昨年と同様アンケートのご協力を呼びかけますが、スタンプラリーが1箇所しか回れなかった方もアンケートに協力していただきたいと思います。アンケート回答者にも、スタンプラリーとは別に景品をお渡しします。また、昨年と同様、お土産としてバルーンも用意しておき、ほしい方に自由に持って帰っていただきたいと思います。次に、スタンプラリーのミニ手話教室について説明いたします。昨年行ったスタンプラリーで「ミニお手話ベリコーナー」としていたところを「ミニ手話教室」と名前を新たにしました。表彰式終了後、フードスクエア前に、2カ所対面のコーナーを設け、参加者・ろう者・ボランティアさんに座っていただきます。昨年の「ミニお手話ベリコーナー」では、参加者がろう者から覚えたい単語の手話を3つ教えていただくといった内容でしたが、今年は挨拶や名前、好きなものなど自己紹介に関する手話を対面で教えていただきます。マスクの着用については、個人の判断に委ねますが、不織布マスク等の口元の見えないマスクを着用されるお客様には、昨年と同様、口元が見えるように透明マスク等を着用いただくようお願いしたいと思います。また、今年はろう者との交流の場をさらに増やしたいと思い、新たにお手話ベリ体験を行いたいと考えています。ミニ手話教室で覚えた手話を使って、実際にろう者と会話してもらおうというものです。スタッフとして会場にいるろう者に目印、例えばバッチなどをつけてもらいます。参加者はその目印をつけているろう者を探し、声をかけミニ手話教室で覚えた手話で自己紹介をし、会話を楽しんでもらうイメージです。お手話ベリ体験ができた参加者には、スタンプラリーカードのお手話ベリ体験の枠へシールを貼り、さらに景品を1つお渡ししたいと思います。提案は以上になります。

議長      まず資料2-1に関して、何か進め方の案はございますか。先ほどご説明いただいた資料通りの案でよろしいでしょうか。何かご意見あればいただきたいです

がどうですか。ご意見どうぞ。

委員 OK だというサインをただけです。失礼しました。

議長 OK のご意見いただきました。ありがとうございます。では次に進みます。資料 2-2。新しく設けたお手話ベリ体験コーナーについてご意見いかがでしょうか。

委員 手話通訳が必要ではないですか。

議長 手話を聴者に教えてからそれを覚えていただいて、バッジみたいなものを付けたろう者とお話する。それで通じるかどうかを試す。お互いにコミュニケーションを取って楽しむ場になるといった流れなので必要ないかと思えます。

委員 わかりました。

議長 他にご意見ありますでしょうか。

委員 まずミニ手話教室の方でろう者が二人ですね。そのあとそこで覚えた手話を使って、お手話ベリ体験で他のろう者と話をすることですけども、結構ろう者の方たちもたくさん来てもらわないといけないかなと思うんですけど、何人ぐらい協力をお願いするような予定ですか。午前と午後とかいろいろ、すべての時間帯に来てもらわないといけないかなと思っていて、そのへんはどうでしょうか。

事務局 ろう者の方には午前、午後それぞれ 4 名ずつお願いする予定です。一日通してだと 8 名にお願いする方向で考えております。

委員 ありがとうございます。昨年の様子を見ていると、ミニ手話教室の時に結構長い時間を取っていろいろしゃべっているサークルの聞こえる人とろう者というのもありましたから、そのへんの時間、それじゃあ次の方に替わってくださいみたいな誘導が必要かなって思います。あとお手話ベリ体験のところではまた 2 人。午前 2 人、午後 2 人ということですよ。そこらへんがスムーズに流れていくのかなと。このへんの誘導係みたいなのも必要かなというふうには思いました。でもすごく良い試みだなとは思いました。

議長 ありがとうございます。去年はお手話ベリ体験のコーナーがなかったんですよ

ね。ミニ手話教室で手話を学んで喜んでいただいたんですが、やはりもっと話がしたいということで、長くお話している様子だったんです。ですので、そこで学んだものを次のコーナーでお話をするというような形でできればと思います。他、皆さんご意見ないでしょうか。先ほどお話いただいた内容でよろしいですね。ありがとうございます。では続きまして資料3です。手と手でハートをつなぐ手話条例の施行から10周年ということで、記念事業のご説明をお願いします。

■「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」施行10周年記念事業について

事務局 令和6年度に開催する松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例10周年記念イベントについて、前回の会議において、開催日の候補と会場を決めていただきました。予約状況を確認したところ、開催日は第一候補の令和6年11月16日土曜日、会場は農業屋コミュニティ文化センターに確定しましたのでご報告いたします。本日は、タイムスケジュールを協議いただければと思います。また記念講演の講師についてもご説明させていただきます。まずタイムスケジュールについて、前回の会議においてイベントは1日開催と決めていただきました。そのなかで記念講演と映画のどちらかで検討していただきましたが、参加者の方に1日中楽しんでいただける内容にするため、どちらも行うのはいかがでしょうか。その場合のタイムスケジュールの案を2つ挙げております。案1、2ともにイベント全体は10時～16時10分です。案1は午前に関開式、手話ポスター表彰式、手話パフォーマンス、記念講演を行います。お昼休憩をはさみ午後から体験等を1時間行い、最後に映画上映という流れです。案2は午前に関開式、手話ポスター表彰式、記念講演、体験を行います。お昼休憩をはさみ、午後から手話パフォーマンス、映画上映という流れです。手話パフォーマンスと体験をどの時間帯にするかの違いになります。案1では、記念講演後お昼休憩となるため、午後からの体験に参加者が集まりづらいことが懸念されます。案2では、記念講演後に別室へ移動いただき体験ブースを自由に回ってもらう想定です。映画については、会長と事務局で検討し映画Aに決めたいと考えています。では次に記念講演の講師について。前回の会議にて会長と事務局に一任されましたが、現時点で未定となっております。(講師候補者4人の説明)説明は以上となります。委員の皆様のご意見・ご提案をお願いいたします。

議長 ありがとうございます。タイムスケジュールについての案1、案2どちらが良いかということと、記念講演の講師さん。記念講演と映画を両方することですよね。まず記念講演と映画二つすることいいかどうかということをお話したいと思います。皆さんよろしいですか。

委員 映画の方なんですけども、ちょっと調べましたら DVD とブルーレイがすでに販売されているみたいですね。せっかく開催するのであれば、ここでしかできないことをした方がいいんじゃないかなと思ったんです。資料としてこういう映画があるとか、こういう書籍があるとかそういうコーナーを作ってもいいかなとは思うんですけど。映画を上映するよりは、私はこの体験等が面白いなと思って。いろんな体験を用意するのであれば、いくつか体験できるようにこの時間を長く取った方が皆さんにとって生の手話、ろう者と関わって手話を身近に感じられる機会になるんじゃないかなというふうに思いました。

議長 事務局の方に聞きたいんですが、対談するんでしたら 1 時間の予定。それとも対談せずとも 1 時間の予定でしょうか。

事務局 1 時間を予定しております。

議長 ありがとうございます。先ほどご意見いただきました映画 A というのはもう DVD として発売されているんですね。じゃあ、もうすでに借りて見られた方もたくさんいるんじゃないかというようなご意見だったと思うんですが、皆さんはどのように思われますか。以前の会議の時に映画の案で出たのが映画 A と映画 B と映画 C の 3 つの案が出ていたかと思うんです。映画 B と映画 C というのはまだ DVD の発売というのはいできないと思うんです。映画 A を選んだ理由というのが、まず聞こえる人も聞こえない人も関係なく皆が見て楽しめるもの。いいなと思ってもらえるかなと思って選んだんです。もう DVD で発売されているということになったらどうでしょう。それでもまず上映するのかどうか。そのあたり皆さんご意見どうでしょうか。まず聞こえる皆さんにお聞きしたいんですが、ご意見をお願いします。

委員 映画の代わりに体験を長くしたらどうかというご意見をいただいたように思うんで、そこを含めてお話をする必要はあるのかなと思いました。もし体験の時間を長く取るのであれば、映画の時間は約 2 時間あるので、その分を含めると 3 時間ぐらい体験というようなプログラムになるかなと思うんですが、そこから話をする必要があるのかなと感じました。

委員 前回の会議で半日間と 1 日間というのがあって、ある程度基本の考えというのを一応は決めたのかなと思っていまして。10 周年記念ということですので、できれば 1 日やった方がいいねということで以前も話をしたと思うんです。体験

コーナーの時間ってわりと皆さんが飽きずにやれる工夫や知恵がいるかなというので、そのへんも皆さんから意見をいただきたいと思っています。あと、記念講演の部分で4名の方、タレントさんと呼ぶという提案がありますが、遠方から来ていただくということを想定しないといけないので、午前の開催時間というのはどこからいらっしゃるのかわからないんですけど、一般的には午後から講師さんの方に来ていただく方がいいかと。前泊が必要なことがあるかもしれませんが、その点だけ意見を言いたいと思います。

議長 ありがとうございます。午前中に講演をお願いする場合は前泊になりますか。

事務局 東京等遠方から来ていただくことになれば、おそらく前泊が必要になってくるかと思われます。

委員 予算のことになるので、設定上可能であれば、午後からの方が安心感というか、まだ今企画の段階ですので、午後の方がいいんじゃないかなという気がします。

議長 予算の都合がありますよね。ありがとうございます。

委員 今回の企画、例年やってもらっているお手話ベリ会も10時から14時ということで午前中にやって。このタイムスケジュール的に1案でいいんじゃないかと思うんですけど、委員が言われたように講師の関係もあって。大抵普通ですと、講演会というのは昼からというのが多いんですね。私どものイベントに関して。ただこれは令和6年度の事業ですので、6年度の予算というのはまだ何も決まってないんです。ですので、実際に映画もやって記念講演もやる。その時にさっき言っていたいただいた講師さん。多分金額的にも大分ばらつきがあるんじゃないかと思うんです。もしかしますと高い額でしたら本当に100万を超える場合もあるかもわかりません。例年やっとする事業ですので、だいたいの予算はもらえるだろうと思うんですけども、周年事業ですから特別の予算になってくるので、そこだけしっかりと予算があるのかも含めながらどんなイベントするかを考えた方が。映画は安くても20万ぐらいかかるんですかね。高かったらもう少しです。記念講演会の方も東京から来るとその旅費。それと当然ながらマネージャーさんもとなってくると、大分の費用が出てくるんで。対談だと二人になるんで。そこでまた予算が変わってくるので、そこをもう少し考えて、要点まとめて協議する必要があるかなと。今の状況では来年の予算は全く決まってないので。そこだけちょっと心配というのは考えながら協議の方お願いし

たいと思います。

議長 ありがとうございます。事務局に確認させてください。予算のことなんですけども、講師4人は予算のことも考えて選びましたか。

事務局 候補に挙げさせていただいた4名の方に関しては、他で講師をされた実績もありまして、そちらにどれぐらいの出演料で出ていただいたかというのは聞かせていただいております。ただその同じ金額でお越しいただけるかというところはわからない部分がありますので、具体的にいくらというところはわかってはいない状況ではありますが、おおよその把握というところはさせてもらった上で候補を挙げさせていただいております。

議長 だいたい予算までいくかなというような感じでやっていただいたということです。ありがとうございます。次の方お願いします。

委員 最初のお話でDVDが発売されているから映画Aはどうかという質問、投げかけではなかったでしょうか。DVD出ているんですね。

議長 出ています。

委員 DVDが発売されているからそっちで見られるんじゃないかという話ですかね。映画Aを上映するのはどうかと。この映画Bと映画Cという候補があったと思うんですけど、他にすべきなのかということですか。というのが最初にあったような気がするんですけど。委員がおっしゃったのはそういうことでしたか。

委員 私はそこまでは考えてなかったんですけど、やっぱりここでしかできないことをやった方がいいというのが中心にあって、映画Cとか他の映画でもDVD発売されてないとか、皆さんに見ていただく意義があるとか。そういうことで検討してもいいんじゃないかなとは思いますが。

委員 わかりました。どの映画にするかというのは事務局さんと会長さんで決めていただくというお話だったかなと記憶していますけども。そのあたり結局この3つを確かその時も見てないので、わからないんじゃないかというお話になったかと思えますので、そこらへんはまた事務局と会長さんとかで見ただけだったらいいんじゃないかなというふうに私は思います。それとこのスケジュール表について一つ言わせていただきたいと思いますけど、どちらにもお昼休憩の時間



を取っているんですけど、完全に休憩でやめてしまう時間を作るのかというのはちょっと気になりました。お客さんに最初に案内をしておれば、今の時間は休みなんかなというふうに思ってみえるかもわかりませんが、もしお昼を交代で食べるとかして、ある程度どの時間に来てもなんかやっているんだなと。体験等をやっとするわとか、そういうふうにした方が続いたイベントになるのかなと思いました。

議長      ありがとうございます。昼休憩、完全に休みにしてしまうんじゃないかと、何とか続けられるような内容に工夫していければということですね。ありがとうございます。映画については映画Aをどなたがご覧になっているかわからないですね。ご覧になった方、ご覧になってない方いらっしゃると思います。一回見たけどもう一回見たいという方もいらっしゃるかもしれません。最終的には改めてこちらで相談させていただくということでもよろしいですか。また他の方もご意見聞けてないですけどよろしくをお願いします。

委員      まず映画について、DVDやブルーレイが発売されているということですが、お家で小さい画面で見ると、大きな劇場で大きな画面で皆と一緒に見るというのはまた違うのかなというふうに思います。前に出ていた映画Bとか映画Cの話よりは映画Aの方がアニメになっていて、子どもさんたちにもなじみがあるんじゃないかなというので選んでもらったと思うので、私は映画上映もした方がいいんじゃないかなとは思いました。それからさっき言われたお昼休憩なんですけども、私もやっぱり完全に休憩にしてしまうと帰っちゃうとか、午後から少なくなってしまうということも考えられるかなと思うので、例えばお昼も中とか外で食べられるような施設に出店をお願いするとか、それから地域のお店をお願いするとか、キッチンカーをお願いするとか。一日を通してそこで皆が楽しんでお話をしながら、お食事もしながらイベントも楽しめるというようなそういう企画にしたらどうかなと思います。お手話ベリコーナーとかミニ手話教室とかバルーンなんかも時間帯を決めて、そこに自由に参加ができる。特にバルーンなんかもなかなか1時間以内に終わるとというのが難しいような気がしますので、長くかかるもの、それから絵本の読み聞かせとかは短時間で済むと思いますので、そういうものの全体のプログラムを作ってみてどれでも参加できるような形にして、一日楽しめるようにした方がいいのかなというふうに思いました。それからもう一つ、記念講演を午後にした方がいいんじゃないかというような気がしましたが、さっきの4人の方たちが対談ではなくてご自分のパフォーマンス、例えばちょっとした演劇をするとか、何かをするというようなちょっとリハーサルとか、そういうのがほしくて前泊が必要な

のかなと思うんですけども。対談でお話をしてもらおうような感じだったら、日帰りで午後の方に。朝来てもらって午後から対談をしてもらおうというふうに、記念講演は午後にもってくるのもできるかなというふうには思いました。

議長 ありがとうございます。キッチンカーとかそういったものも良いですね。障がい者の施設が作ったものも提供できたらいいかもしれません。ご意見ありがとうございます。

委員 まだ意見が言えるほど経験がないんですけど、さっきのアニメの映画、手話を知るきっかけとしてはやっぱりいい。若い人でも受け入れやすいということで、僕も実は手話とか全く知らない頃に見たんですけど、なかなか良い映画でした。これを見て手話ちょっと勉強してみたいなというのは確かです。この映画チョイスは良いと思います。若い中高生ぐらいから全然いけるような。そんな感じですよ。

委員 皆さんに言っていただいた意見とほとんど私も同じような考えです。手話を知らない子がどれだけ興味持って、感心持ってちょっとでも知りたいなとか、そのきっかけになるのが一番いい催しなのかなと思います。アニメの映画も良いと思いますし、あと体験。実際にお話してみて、こういう感じだろう者とお話しするのはこういう感じなんだなというのがわかるんだけども。全然違うと思いますし。あと一つ、パフォーマンス。これはどんな形でどういうのをしていただけなのかちょっと教えていただきたいです。

事務局 手話パフォーマンスについては高校の生徒さんへ出演をお願いしているところではありますが、来年度のお話というところで学校のスケジュールが未定ですので、具体的なお返事はまだいただけてないです。考えている内容としましては、ダンスや手話劇などを考えております。

議長 ありがとうございます。ではろう者から意見をいただきたいと思います。

委員 皆様のご意見を伺いましてなるほどと思っていました。スケジュールは案1、案2がありました。こちらの案を見ますと、やっぱり案2の方がいいと思いました。説明通り講師に来ていただいて、午後がいいという意見がありましたけど、僕も同じ意見です。講師だけではなく、もし高校生のパフォーマンスとか来ていただく時も、負担にならないように昼から来ていただいた方がやりやすいかなと思います。もう一つ心配していることがあります。例えば先ほど講師

紹介していただきましたね。4人の紹介がありました。皆さん有名ですので、農業屋コミュニティ文化センターの定員を超えてしまうほど応募があるんじゃないかと思います。それを心配しています。いっぱい来ていただけるのはいいんですけど、定員を超えてしまうかというところは心配です。大行列になっていいんですけど、たくさん大騒ぎになる。そこらへんが心配です。松阪市だけでなく他のところからもこれは面白いぞというのでたくさん人が集まって来られる。そこらへんは心配しております。そこらへんがちょっと工夫が必要かなと思いました。

委員 スケジュールに関しては、講師は昼から来ていただく形の方がいいと思います。県のろうイベント、そこも昼からやる方がいいと思います。映画のことですが、映画Aを今予定していますが、これに関しては漫画ですね。アニメですよ。子どもたちが見て喜ぶかなと思います。

議長 お話ありがとうございました。皆さんの意見を伺って講師とパフォーマンス。そのへんの関係はやっぱり昼から開催した方がいいかなと思いました。映画に関しては映画Aがいいと思いました。他は体験を一日通してできる場にしたいというところもわかりました。今後事務局と一緒にそのへんをさらに見ていきたいと思うんですがよろしいでしょうか。だいたい皆さん意見出していただいたと思うので、出演をお願いする方については午後からがいいかなということになると、映画を午前中にもってくるのか。あと隙間の使い方ですね。お昼の休憩を取らずに通して楽しめるような時間配分ということをもた事務局ともう一回調整させてもらいたいかなと思ったんですけど、いかがでしょうか。ありがとうございます。私が考えたことでいいますと、映画は午前に上映する。プラス体験も同じように進めて映画の上映と体験を並行的にするのはどうかと思ったんですけど、そこらへんはいかがでしょうか。

委員 ずっと一緒にやる？

議長 そうなります。事務局にちょっと確認させてもらいます。ポスター表彰式は午前にするんですよ。そのあとたくさん人が来て楽しめるようにしたいという流れですよ。わかりました。皆さんの意見を覚えておいて、また今後検討したいと思います。これでよろしいでしょうか。

委員 今言ってくださった映画と体験を並行して開催するというのはいいい案だなと思いました。一日を通して楽しめるようにとおっしゃった委員の皆さんの意見

に私も賛同します。このイベントは手話条例のイベントなので、お昼にお弁当出したり、キッチンカー呼ぶとかってというのも、ろうの方でそういうことをされている方いらっしゃると聞いたこともありますので、ろうの方に出店していただくのを優先するというのがこのイベントの趣旨に合っているかなというふうに思いました。もう一つ質問なんですけど、パフォーマンスでダンスとなると手話のダンスということですよ。

議長 高校生の女の子が一人ダンスが終わったあと手話でありがとうとしている映像を6月頃に見たことがあります。

委員 そうすると、ダンス自体は手話と関係ないということですか。

議長 高校生は手話を知らない方ばかりなので、もし何らかの手話がわかっていれば手話を使ってくださるかもしれないんですけども。3年ほど前に三重県聴覚障害者協会のフェスティバルで高校生にダンスの発表をしていただいたことがあるんです。ろう者は音が聞こえませんが、ダンスする動きを見て堪能していました。このような感じでさせていただいたという経験があります。さらに手話があればより盛り上がるのかなとは思いますが。

委員 ありがとうございます。

議長 意見ありがとうございます。皆様のご意見を参考にして決めていきたいと思えます。

### 3. その他

議長 事項書の3番です。その他、啓発物品について事務局の方からご説明をお願いします。

事務局 今年度作製する手話普及啓発物品についてご報告です。前回の会議で委員の皆様よりいただいたご意見を基に検討した結果、今年はボールペンと付箋を作製しようと思えます。デザインについてはシンボルマークと条例の文字を載せるイメージで考えています。

議長 ありがとうございます。皆さん何かご意見よろしいでしょうか。ありますか。

委員 デザインはまた後でしたか。いいと思いますよ。

議長 ありがとうございます。ではこれで進めていきたいと思います。これで一応予定していた協議内容はすべて終わりということですのでよろしいでしょうか。最後に何か質問等ございましたら。

委員 11月16日土曜日、アピタで開催するまちかどミニお手話ベリ会について。昨年度朝早くから集まって準備をするというのが大変だったという思いがあります。それで朝早く集まるのではなくて、金曜日の夜にある程度用意をするというのはどうでしょうか。その時にもし何か忘れたものとかあったら当日にできるし、どなたもいらっしゃらないところで準備をした方がスムーズなのかなと。アピタの従業員の方々がどうなのか。夜間に使わせていただくのがいいのかよくわからないんですが、朝からの用意というのは結構慌ただしくて疲れたというイメージがあります。そのあたり準備の時間を少し取っていただけるとありがたいなと思います。夜間の準備ができないかということでアピタの方をお願いしていただけますでしょうか。

事務局 一度アピタさんの方にはそういったご相談をさせていただきまして、可能であればそういった形で準備を進めていくという形で。ちょっと難しければまた朝からお願いさせていただくことになりますので、その時はよろしく願います。

委員 はい。わかりました。

議長 他に何かご意見ありませんか。では、以上で終了させていただきたいと思えます。ありがとうございました。では事務局の方にお返しします。

事務局 ありがとうございます。では、次回の会議については10月頃に開催したいと考えております。日程が決まり次第開催通知をお送りしますのでよろしくお願いいたします。それではこれもちまして第42回松阪市手話施策推進会議を終了いたします。お疲れ様でした。